

都市・地域計画研究室

1. はじめに

都市・地域計画研究室では、少子高齢化社会の到来や低炭素社会の実現など、複雑化する都市・地域の諸問題に対応するため、1. 大都市圏・生活圏のあり方、2. 集約型都市構造の実現、3. 市民と行政の協働型まちづくり、4. 計画行政ネットワークづくりを主要テーマに、各分野の専門家や研究機関との連携を図りながら、より実践的な調査研究業務に取り組んでいます。

2. 主な研究活動

(1) 大都市圏・生活圏のあり方の検討

少子高齢化社会を迎えつつあるなか、都市構造や人の暮らし方について、広域地方ブロック・大都市圏・生活圏における人口減少、高齢化の見通しと交通条件等との関連から検討し、これからの持続可能な都市・地域づくりのあり方の調査・研究を行っています。

(2) 集約型都市構造の実現に向けた戦略的取り組み

限られた財政状況の下、持続可能な地域づくり、集約型都市構造の実現に向け、土地利用と交通体系のバランスがますます重要になってきています。そこで、公共交通の活用や街なかの再生による歩いて暮らせるまちづくりを実現のための戦略的な展開や仕組みづくりについて、具体の都市を対象に調査・提案を行っています。

(3) 市民と行政の協働型まちづくりの実践

近年、まちづくりに対する市民意識の高まりに伴い、全国各地で市民参加型まちづくりが行われていますが、市民と行政の協働によるまちづくりには至っていないのが現状です。この協働体制を構築するうえで重要な、ワークショップや社会実験などの意見交換を行うための場のシナリオやプロセスづくりに着目し、市民と行政の協働型まちづくりの実現に取り組んでいます。

(4) 計画行政ネットワークづくりの支援

今後の、都市・地域づくりにおいては経営的発想による自治体間の連携・協議・調整が大きな課題になっています。これまで関与してきた東京都市圏の交通計画協議会や政令指定都市の国際都市計画交流組織推進協議会での経験を活かし、広域連携マスタープランの策定、関連事業計画の連携協議、マネジメント手法の検討や共通のまちづくり支援制度などについて研究・提案を行っています。

3. 主な研究テーマ

(1) 都市圏計画、都市計画・地域形成

- ・広域地方ブロックレベルの計画策定・広域連携、マネジメント手法に関する調査研究
- ・大都市圏・生活圏レベルの整備方策・都市間連携、制度に関する調査研究
- ・都市・地域レベルの計画策定（都市再生、中心市街地活性化）
- ・大都市圏の防災・物流活動に関する調査研究

(2) 自動車利用抑制・公共交通活用計画

- ・鉄道駅やバスターミナルなどの交通結節点整備計画
- ・歩行環境・自転車利用環境整備計画
- ・環境共生型都市・交通整備計画

(3) 協働型まちづくりに関する調査研究

- ・協働型まちづくりのシナリオ・プロセス・体制計画
- ・ワークショップなど市民参加手法の計画・実施
- ・まちづくり計画検証のための社会実験の計画・実施・評価

(4) 諸外国の政策、計画情報

- ・先進諸国の都市・地域づくりに関する政策、取り組みに関する調査研究
- ・主要国、都市とのセミナー